

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	サポートファーマー育成事業		
事業担当	産業振興部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'03	③〈新しい芽〉リーダー、後継者が育ち活躍できる環境をつくる	
	'02	2 新しい価値観や豊富な行動力をもった担い手が、継続的に育成されるしくみをつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、農業者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： JA湘南】		
	目的・目標		事業の概要
研修修了者が援農組織に登録し、農業の担い手が育成されています。		農業の補助的な担い手を育成するため、農業者以外の市民を対象とした本格的な農業技術研修（研修農場での作付け、肥培管理、収穫等）を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	サポートファーマー研修会開催回数			単位	回
	説明・算定式	実技研修及び講義研修の回数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	47	47	50	50	
	実績	52	58	56		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	援農者数			単位	人
	説明・算定式	援農組織への登録者数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	24	35	40	45	
	実績	30	35	47		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
市民17名を対象に農業技術研修を実施するとともに、JA湘南が主催する農業機械や農業の講習会に参加しました。また、農業や肥料についての知識向上のため、JA全農宮農・技術センターを視察しました。JA湘南サポートバンクへの新規登録者数は12人で、計47人となりました。研修修了者で組織するサポートファーマークラブは、金田市民農園マイ菜ファームの運営の一部を担うとともに、収穫祭等のイベントに参画しました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	定年退職者など農業に関心のある市民が援農したいというニーズと、高齢化等により農作業を手伝ってほしいという農業者からの要望があります。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	農業者の高齢化や後継者が減少しているなか、農業者の補助的な労働者を育成し、援農させることは農業経営の安定化につながるとともに、耕作放棄地の抑制を図ることができます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	農業者以外の市民の力を援農として活用できるようにするため、本格的な研修を実施し、農業に関する技術や知識を習得できる機会を提供することは妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	農協や県など農業技術や地域農業に精通した専門機関と連携して取組むことで事業の効率化が図られます。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 天候等の理由から臨時研修会を開催したため、参加者数に差が生じるので、研修内容を考慮する必要があります。また、JA湘南サポートバンクへの登録や耕作放棄地の解消、市の農業関連事業へ参画する人材を育成していくとともに、今後は研修終了生や農業者へのヒアリングを行い、効果的な援農事業となるよう検討していきます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		研修会の開催、援農ボランティア制度の周知	研修会の開催、JAサポートバンクへの登録促進	研修会の開催、JA湘南サポートバンクへの登録促進	研修会の開催、JA湘南サポートバンクへの登録促進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	165	128	208	173
	一般財源	602	515	437	596
事業費 (A)		767	643	645	769
執行率 (%)		91.31	78.22	71.11	
内訳	職員 (人)	0.81	0.71	0.75	0.70
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	6,565	5,691	5,961	5,470
フルコスト (A+B)		7,332	6,334	6,606	6,239

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 援農ができる人材を育成するため、実践的な農業技術研修を行い、研修終了後にはJA湘南サポートバンクへの登録を通して、農業者の支援につながるような事業を実施します。
課長コメント 研修終了者をJA湘南サポートバンクに登録し、支援が必要な農業者への援農活動を行っています。今後は、農業者のニーズにあった援農活動ができるよう、ヒアリングを通じて事業効果を高めていきます。